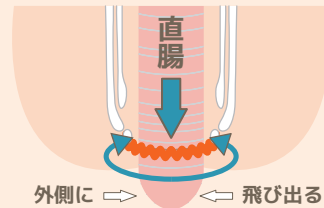


直腸脱の治療

直腸脱とは？

「直腸脱」は肛門から直腸が脱出する状態です。直腸壁がぐるりとひっくり返って裏返しになり、肛門の外に飛び出してしまいます。直腸の固定が悪い事が原因で、肛門を締める「肛門括約筋」が加齢により緩むことが最も多く、高齢の女性に多い病気です。また排便時にいきみ過ぎることも一因となります。



肛門括約筋が弛緩して直腸を支えきれない

症状

直腸脱のもっとも代表的な症状は、排便時に強くいきんだときなどに、肛門から直腸が脱出するものです。排便時の違和感や粘液による下着の汚れや血液の付着、便秘や残便感などのいわゆる、排便障害、肛門の閉塞感、肛門痛、湿疹かゆみなども併発します。早い段階では、いきむのをやめたり、指で押し戻すと直腸の脱出がなおります。



さらに症状が進行すると歩行時にも脱出がみられたり、便失禁や排便困難などを伴うようになります。手で戻すことが難しくなり、直腸が大きく腫れて戻らなくなった状態を「かんとん直腸脱」と言い、強い痛みを伴い、下着にこすれて出血することもあります。直腸脱の症状が見られたら、なるべく早めに専門医に相談しましょう。

治療

直腸脱はいったん発症すると自然に治ることはありませんので、治療には必ず手術が必要になります。

手術

手術療法にはいくつか種類がありますが、当院では再発のほとんどない根治療法として、「腹腔鏡下直腸固定術」を標準の治療法としています。

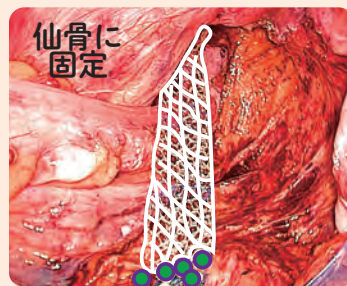
たにだ たかし
外科科長 谷田 孝 医師



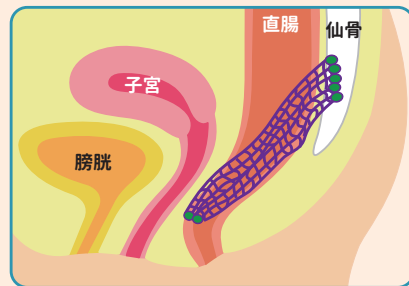
資格・認定医

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・
消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本がん治療認定医機構がん
治療認定医
日本内視鏡外科学会評議員

【術式】 腹腔鏡下直腸固定術



直腸に縫いつけたシートを張った状態で仙骨に固める



術後断面図

患者さんへのメッセージ

直腸脱は出血や便漏れや異物感などの不快な症状を伴います。なかなか相談しにくいこともあるかと思いますが、少しでも思い当たる症状があれば、気軽に外来を受診してください。当院で専門的に行っている低侵襲手術で治療できれば、身体に与える影響を抑えることができます。痛みも少なく、術後の回復も早いという特徴があります。

■ 診察時間 午前 9:00～12:45

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:45	●		●			●



ホームページ



外来予約専用番号

☎048-928-3112

(診察時間) 月～金 9:00～17:00 土 9:00～13:00*

*土曜日受付 予約 8:15～12:30 予約外 8:15～11:30

事前にご予約する事を
おすすめします。